

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

平成 31 年 4 月 1 日改正
(平成 31 年 4 月 1 日適用)

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

②施設・事業所情報

名称：沖ノ橋認定こども園	種別：幼保連携型認定こども園	
代表者氏名：山田 豪	定員（利用人数）： 115 名	
所在地：岐阜市沖ノ橋町2丁目15番地		
TEL：058-251-1856	ホームページ： https://www.wakokai.ed.jp/okinohashi/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 平成20年4月1日(平成28年4月1日幼保連携認定こども園移行)		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人和光会		
職員数	常勤職員： 19 名	非常勤職員 13 名
専門職員	（専門職の名称） 名	
	保育士 27 名	
	看護師 1 名	
	管理栄養士 1 名	
	調理員 3 名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室 6室(0歳児～5歳児)	調乳室 1室 調理室 1室 一時預かり室 1室

③理念・基本方針（※転載）

理念

- ・一人ひとりを大切にし、生きる力を育みます。
- ・地域に根ざし、子育て支援の拠点を目指します。
- ・意欲と知恵と工夫により、子どもの幸せを実現します。

基本方針

- ・五感を刺激する豊かな環境をつくり、一人ひとりを大切にし子どもの生きる力を育む。
- ・地域の人や多世代との交流を通じ、基本的な生活習慣や態度を学び、思いやりの心、感謝の心を育てる。
- ・創意工夫により教育・保育をすすめ、子ども・保護者・地域に信頼されるよう努める。
- ・地域に根差した子育て支援を展開する。

④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

1. 一人ひとりの発達や成長に応じた個々への関わりを大切にした保育を行っている。
2. 地域の方との関りを大切にした活動を継続している。
3. 子どもたちの自主性を大切にした遊びこめる環境を提供している。
4. 保育の質の向上に努めるとともに、風通しの良い働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 2 年 8 月 3 1 日（契約日） ～ 令和 3 年 3 月 8 日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	3 回（平成 2 7 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

<五感を育む環境づくり>

市内の繁華街を少し通り過ぎた静かな一角に立地することも園である。木々の向こうからは元気な子どもたちの活き活きとした声がよく聞こえ、道行く人たちにも元気を与えている。園庭には、木製の遊具やハウスが置かれ、歴史を感じさせる木々が、ちょうど良い木陰を作り、日差しを避け木陰で遊ぶ子どもの姿が見られる。

<意欲的に保育実践に臨む姿勢>

保育理念にある「子どもたちの生きる力を育む」環境づくりに向けて、保育に関わる全職員(外部講師も含めて)がチーム一丸となり、日々の実践を振り返り、意欲的に保育の仕事に取り組んでいる。

<リスクマネジメント体制>

ヒヤリハットを作成し、報告書を職員間で共有し、事故発見時の状況・初期対応をはじめ、導き出された原因・改善策などが具体的に記されている。また保育者の安全への意識向上を図るため、リスクマネジメント委員が中心になり「安全に気を付けて遊具や用具を使う」「園内の危険な遊びを知る」などの観点で危険予知シートを用いたトレーニングを実施している。

<業務のICT化の推進>

チャイルドケアウェブシステムを導入し、勤務時間内に子どもの保育状況の記録が確保できるよう効率化が進めている。それによって、職員間で共有するとともに、主幹保育教諭が全体の把握に努めている。必要に応じて主幹保育教諭が、早めに保育者に向き合い、アドバイスを等、保育の質の向上につながっている。

◇改善を求められる点

<さらなるサービスの質の向上>

今後とも現状に満足することなく、さらに理想を高く掲げ、評価の良かった点についても更なる改善に努めることで、今後、多様化する地域の子育て支援ニーズに対応した保育サービスの提供に邁進していただくことを期待する。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

教育・保育を取り巻く社会環境の変化に対応するため、様々な取り組みをしている当園にとりまして、高い評価をいただきましたことは本当に喜ばしいことと思っております。これからもこれを励みとし、前向きに沖ノ橋認定こども園が目指す教育・保育を展開していきたいと思っております。

また、地域との連携にも引き続き力を入れるとともに、保護者様からのご意見を参考にして、質の向上に向けて創意工夫を凝らしていきたいと考えております。

併せて、当園は職員の働きやすい職場を目指し、外部・内部研修やその環境づくりにも積極的に取り組んでまいります。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。